

## 令和2年度第2回高知県食育連携推進協議会 議事要旨

日時：令和3年2月18日（木）午後2時～午後3時30分

場所：高知県保健衛生総合庁舎 5階 会議室

出席者：委員10名（欠席2名）

事務局11名

（食品・衛生課1名、農産物マーケティング戦略課1名、  
漁業振興課2名、幼保支援課1名、生涯学習課1名、  
保健体育課1名、健康長寿政策課4名）

### ○協議事項

- （1）第3期高知県食育推進計画進捗状況について
- （2）その他

### ○議事等概要

#### （1）第3期高知県食育推進計画進捗状況について

今年度の取組内容及び実績について第3期高知県食育推進計画の第4章の第1節から第4節までの主な取組、課題等について担当課及び委員が報告を行った。

#### ＜第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進＞

事務局から3歳児保護者を対象とした基本的生活習慣に関する取組。子どもたちのスマホやネットの長時間使用が課題であるため、生活リズム認定証のチェックシートの該当項目の配点を見直したこと。朝食の食事提供活動の実施、健康教育副読本を活用した実践、健康・体力課題校への訪問等の実施。また、魚食普及活動として、地元食材による魚食調理実習の実施や、県内の小学校等で県内水産物を素材に調理実習を行う体験型出前授業の実施したことを報告した。

#### ＜第2節 健康長寿を実現する食育の推進＞

事務局から野菜摂取および減塩に関する啓発活動プロモーションによるキャンペーンを量販店の協力のもと実施したこと。特定健診の集団健診において、推定塩分摂取量測定値を用いた減塩の健康教育の実施について報告した。

##### 【質疑】

委員から医療機関では、24時間畜尿で食塩の量を測定しているが、推定塩分摂取量の信頼度はどれくらいかと質問があり、事務局から信頼度の数値は明確に答えられないが、推定値による減塩指導が高血圧治療ガイドラインに示されていることを説明した。

#### ＜第3節 食の理解と継承＞

事務局から食の理解と継承では、郷土料理の伝承を行っている「土佐の料理伝承人」制度を活用した講習について、地産地消の核を担う農林水産物直販所の支援の実施について、食品表示に関する普及啓発と意見交換会の開催、「今日はさかなにしよう」ハッシュタグキャンペーンの実施、学校給食における地場産物の活用で、毎月の「高知の食べ物いっぱい入っちゃう日」の徹底、6月19日の「高知家のカレーの日」、11月24日「高知家のおだし（だしで味わう和食の日）」を設定して、積極的に50%以上の活用率で学校給食を実施した取組、また、災害時の栄養・食生活支援として、南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインの改定について報告した。

## 【質疑】

- ・委員からカツオ以外で魚食調理実習にどんな魚を使っているかの質問があり、事務局からイワシやクロマグロなどの県内で養殖をしている魚を使っていることを説明した。
- ・委員から「今日はさかなにしよう」キャンペーンについて、はじめは応募も少なく心配していたが、最終的には、応募も多かった。応募が増えた要因について質問があったが、事務局から担当課ではないため、手持ちの資料では把握できていないことを説明した。
- ・委員から先ほどの魚の種類について、水産物食育推進事業では、カツオ以外の魚種を使用することという指定があり、カンパチやアジなど実施時期にあわせた魚を使っていることの説明があった。

## <第4節 食を育む環境づくり>

事務局から今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で食生活改善推進員の養成講座を実施していないこと、企業との連携については、量販店の広告チラシに知事のコメント入りで食育月間や野菜摂取について掲載してもらったこと。来年度も「高知家健康チャレンジ」のプロモーションとの連携協力を量販店に依頼していきたいと報告した。

## <第1～第4について委員報告>

- ・委員からコロナ渦で密を避けるため人数を制限して実施したこと。「早ね早起き朝ごはんフォーラム」について、PTAの実践報告は延期となったが、講師による睡眠についての講演は、オンデマンド配信で行われたことの報告があった。
- ・モデル小・中学校において行われた食生活実態調査と健康教育の実施状況について事業委託している委員から説明があった。
- ・年齢に応じた食に関する絵本や紙芝居を用いた活動、早ね早起き朝ごはん生活リズムを整える必要性の啓発。今年度新しい取組として3色食品群（赤・黄・緑）に食品を分ける取組についての報告があった。
- ・例年実施している朝食アンケートを実施し、朝食欠食の理由を把握し、課題整理、今後の取組を検討したこと、学校における新しい生活様式の実践について、需要が減った外食向けの県内食材を学校給食に無償提供を受けたことの報告があった。
- ・子どもの食育推進では子どもたちが興味がわくよう、いろんな形でやっていること、イベントができなかった分、食材やレシピを持参して家庭訪問活動を行ったことの報告があった。
- ・オンデマンドで行う活動と出向いて実施する活動を整理する機会となったこと、土佐の食文化が途切れないようにしていきたいとの意見が出された。

## (2) その他

事務局から「食育月間」の取組実績について各3事例ずつ農林水産省に報告を行い、ホームページに掲載されること。国の「第4次食育基本計画（案）」の意見募集がされていることについて説明した。

委員の任期が令和3年3月31日で終了となることから、引き続き委員委嘱の手続きの依頼をお願いした。

今回の協議内容について了承され、以上で会議を終了した。